

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考 (間接交付事業者 における事業に 要した費用)
青森県核燃料サイクル交付金			青森県	312,076,000	312,076,000	(329,749,000)
1	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	町道維持補修事業	大間町	61,743,000	61,743,000	(66,541,200)
2	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	奥戸小学校増築・グラウンド改修事業	大間町	67,000,000	67,000,000	(73,334,800)
3	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	消防ポンプ自動車更新事業	横浜町	50,000,000	50,000,000	(56,540,000)
4	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	風間浦村核燃料サイクル事業基金造成事業	風間浦村	133,333,000	133,333,000	(133,333,000)

II. 事業評価個表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	町道維持補修事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大間町
交付金事業実施場所	青森県下北郡大間町大字大間 地内	
交付金事業の概要	<p>大間町の観光資源である本州最北端の国定公園「大間崎」へ至る幹線道路の補修工事を行い、観光客の目的地へのスムーズな移動や滞在時間の増加を図り、観光振興に寄与するものです。</p> <p>(町道大間下手1号線) 路上路盤再生工1.0式、舗装工1.0式（施工延長L=640.0m） (町道大間奥戸線) 路面切削工1.0式、オーバーレイ工1.0式（施工延長L=332.3m）</p>	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>大間町の観光資源である本州最北端の国定公園「大間崎」では観光客の増加に伴い、繁忙期には駐車場の不足による慢性的な渋滞や路上駐車が問題となったことから、それらの問題の解消並びに観光客の利便性向上を図るため平成30年度から本交付金を活用して大間崎第二駐車場整備事業を実施したところですが、他方、大間崎へアクセスする町道は整備後20年以上経過しており、経年劣化及び交通量の増加に伴う路面の損傷が著しく、早急な補修対策が必要となっています。</p> <p>駐車場の整備に伴い、大間崎周辺の利便性が向上され、今後さらに観光客の増加が見込まれることから、これらのアクセス道路の補修を実施することにより更なる利便性の向上が図られ、大間崎周辺の観光振興に資することができます。</p> <p>今回補修予定の2路線は、令和元年度に策定した「大間町舗装長寿命化修繕計画」においても、修繕の優先順位の高い路線として位置付けられているものです。</p> <p>【目標】 本路線を補修することにより、交通障害の解消及び、観光資源の価値向上を図ります。</p>	

事業開始年度	令和2年度	事業終了（予定）年度	令和2年度			
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和3年度	
	観光資源の価値向上		成果実績			
			目標値			
			達成度	%		
	評価年度の設定理由					
	交付金事業が完了し次第、評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	道路舗装工事を実施したことにより、交通障害の解消や観光資源の価値向上を図られることが期待されます。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	年度	年度
	工事の進捗量	活動実績	%	100.0		
		活動見込	%	100.0		
		達成度	%	100.0		
交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	備考		
総事業費	66,541,200					
交付金充当額	61,743,000					
うち文部科学省分	0					
うち経済産業省分	61,743,000					

交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	道路補修工事	指名競争入札	株式会社渋田産業	66,541,200
交付金事業の担当課室	大間町	生活整備課		
交付金事業の評価課室	大間町	生活整備課		

II. 事業評価個表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称				
2	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	奥戸小学校増築・グラウンド改修事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大間町				
交付金事業実施場所		青森県下北郡大間町大字奥戸字館ノ上 地内				
交付金事業の概要		<p>大間町立奥戸小学校の特別教室棟の増築、旧特別教室棟が配置されている木造校舎の解体及びグラウンド改修を実施することで、児童の安全確保と教育環境の向上を図ることとしており、令和2年度は、グラウンド改修工事を実施します。</p> <p>グラウンド改修工事 1.0式（土工1.0式、施設整備工1.0式、雨水排水工1.0式、撤去工1.0式、電気・機械設備工1.0式：舗装面積A=6,151.2㎡）</p>				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>当該木造校舎は昭和28年に建築され、建築後67年が経過し、老朽化が進み耐震性にも欠ける状況にあります。また、グラウンドについては、狭隘及び変形な敷地である上、水はけが悪いことから、屋外での体育活動に支障が生じています。よって、児童の安全で安心な学習環境を確保するため、特別教室棟増築及びグラウンド改修を行うものです。</p> <p>【目標】 平成30～令和2年度の3ヶ年にわたり、特別教室棟増築工事・木造校舎解体工事・グラウンド改修を実施することによる、校舎の耐震化率100%の達成。</p>				
事業開始年度		平成30年度	事業終了（予定）年度	令和2年度		
事業期間の設定理由		平成30年度～令和2年度の3ヶ年の事業計画としているため。				
		成果目標	成果指標	単位		
				評価年度		
				令和2年度		
		校舎の耐震化率100%	校舎の耐震化率	成果実績	%	100
				目標値	%	100
				達成度	%	100

交付金事業の成果目標 及び成果実績	評価年度の設定理由					
	交付金事業が完了し次第、評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	3ヶ年計画事業の3年目として、グラウンド改修工事を行ったことで、教育環境の向上を図る事が出来ました。また、3ヶ年計画事業の完了により、校舎の耐震化率100%を達成し、児童が安全で安心して学習できる環境を確保することが出来ました。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	工事の進捗量	活動実績	%	100.0	100.0	100.0
		活動見込	%	100.0	100.0	100.0
		達成度	%	100.0	100.0	100.0
交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考		
総事業費	307,638,000	40,649,400	73,334,800	総事業費 H30~R2 421,622,200		
交付金充当額	235,000,000	23,256,400	67,000,000			
	うち文部科学省分			0		
	うち経済産業省分	235,000,000	23,256,400	67,000,000		
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	グラウンド改修工事	指名競争入札	野崎建設工業株式会社	73,334,800		
交付金事業の担当課室	大間町 教育委員会教育課					
交付金事業の評価課室	大間町 教育委員会教育課					

II. 事業評価個表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称
3	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	消防ポンプ自動車更新事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		横浜町
交付金事業実施場所		横浜町地内
交付金事業の概要		各消防分団に配備している消防ポンプ自動車のうち、長年使用し、耐用年数を経過している車両を2台更新し、消防団員の安全を確保するとともに、円滑な初動体制の維持及び確実な消火活動の推進を図る。
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>平成23年3月策定 第5次横浜町総合振興計画の「基本目標3 海と大地が調和する自然を生かした基盤づくり（生活環境）」に下記の基本施策を掲げている。</p> <p>「基本施策4 安全・安心が感じられるまちづくり」</p> <p>○主要施策1 消防・防災・救急対策の充実</p> <p>●目標 消防・防災・救急体制の向上及び消防団活動の活性化を図る。</p>

事業開始年度	令和2年度		事業終了（予定）年度	令和2年度		
事業期間の設定理由	年度内に事業が終了するため					
交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度
	横浜町地区 における災 害時出動率 100%	災害時出動 率	成果実績	回	10	
			目標値	回	10	
			達成度	%	100%	
	評価年度の設定理由					
	事業終了後、速やかに評価を実施					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	<p>消防団車両の更新による出動体制の確保を目的としていることから、事業実施により消防団車両の出動体制を整えられ、円滑な初動体制の維持及び確実な消火活動の推進が図られたことが評価できる。</p> <p>●事業消防団車両の出動回数 10回</p> <ul style="list-style-type: none"> └ 第1分団第1部 5回 └ 第1分団第2部 5回 					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和2年度	年度
	車両の更新台数		活動実績	台	2	
			活動見込	台	2	
			達成度	%	100%	

交付金事業の総事業費等	令和2年度	年度	年度	備考
総事業費	56,540,000			
交付金充当額	50,000,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	50,000,000			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	物品購入	指名競争入札	有限会社丸栄消機	56,540,000
交付金事業の担当課室	横浜町役場総務課			
交付金事業の評価課室	横浜町役場総務課			

II. 事業評価個表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称				
4	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	風間浦村核燃料サイクル事業基金造成事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		風間浦村				
交付金事業実施場所		風間浦村大字易国間				
交付金事業の概要		令和2年度及び3年度に実施するデジタル防災行政無線の整備に要する経費に充当するため基金を造成します。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>風間浦村では、平成28年3月に第1次風間浦村総合計画を策定しており、その総合計画では令和7年度（平成37年度）までの10年間で目指す村の将来像として、「～小さな村の挑戦～こころ豊かに暮らせるゆかいむら」を目指しています。</p> <p>総合計画は、3つの基本理念を掲げ、その理念達成に向けて必要な施策を基本計画として定めており、今回の事業は、</p> <p>基本計画 第3章 お年寄りと子どもが安心して暮らせるゆかいむら 第2節 利便で暮らしやすい生活基盤の充実 4 情報化への対応</p> <p>に主な施策として位置づけられたものであり、村民の安心・安全の確保のために防災行政無線の整備及び情報の伝達収集体制づくりを実施するものです。</p>				
事業開始年度		令和2年度	事業終了（予定）年度		令和2年度	
事業期間の設定理由						
		成果目標	成果指標	単位	評価年度	
		公共施設（防災行政無線）の整備	公共施設の整備に必要な基金造成	成果実績	%	100
				目標値	%	100
				達成度	%	100
		基金処分の翌年度				

交付金事業の成果目標 及び成果実績	評価年度の設定理由					
	基金の処分を行った翌年度に評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	交付金により基金を造成したことによって、安定的な財政運営を図りながら事業を実施する状況が確保できました。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	基金造成額	活動実績	円	133,333,000		
		活動見込	円	133,333,000		
		達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考		
総事業費	133,333,000					
交付金充当額	133,333,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	133,333,000					
交付金事業の契約の概要						
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額		
	基金造成	積立	青い森信用金庫	133,333,000		
交付金事業の担当課室	風間浦村企画政策課					
交付金事業の評価課室	風間浦村企画政策課					